

平成 29 年度秋田県生活支援コーディネーター情報交換会（実践研修会） 開催要項

1. 目的

平成 27 年度の介護保険制度の改正により、市町村が新たに生活支援の仕組みづくり（生活支援体制整備事業）を実施することになり、その事業推進を担う生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）（以下、「SC」という。）と協議体が、平成 30 年度中には、各市町村に第 1 層、第 2 層ともに置かれることになっております。

本研修は、市町村に配置された SC が、住民主体の助け合いによる地域づくりを推進するために、今後の課題となる 2 層の体制づくり、ニーズと担い手の掘り起こし、助け合いづくりについて、ポイントを学び、各地の先進事例や相互の情報交換で様々なノウハウを学び合い、各地での実践につながるための研修会を開催するものです。

2. 主催

秋田県

公益財団法人 さわやか福祉財団

公益財団法人 秋田県長寿社会振興財団（LL 財団）

3. 共催

こまち助け合い推進研究会

4. 期日・会場

期日 平成 30 年 1 月 24 日（水）

会場 秋田県ゆとり生活創造センター遊学舎 会議室

（秋田市上北手荒巻字堺切 24-2 TEL 018-829-5801）

5. 内容 別紙 1 カリキュラムのとおりです。

※受講される方は、全日程参加いただくことを原則とします。

6. 受講対象者

① 生活支援コーディネーター及び候補予定者（第 1 層及び第 2 層）

② 市町村担当職員

※市町村担当職員は可能な限り参加してください。

定員 100 名

7. 講師・アドバイザー

公益財団法人 さわやか福祉財団 会長 堀田 力
公益財団法人 さわやか福祉財団 理事 鶴山芳子

8. 受講料

受講料は無料です。

9. 受講申し込み等

- ① 受講の申し込みについては、別紙2の申込み用紙に必要事項を記入のうえ、メールによりお申込みください。
- ② 別紙3の事前課題等提供用紙により、(1)「第2層のSC/協議体づくり」、(2)「ワークショップ(ニーズと担い手の掘り起こし)」、(3)「助け合いづくりについて」、各項目ごとに工夫していること、悩んでいること、質問等の課題を皆様から事前に情報提供いただいた内容について、講義・グループワークを行いますので、提出方よろしくお願ひします。
- ③ 下記宛に申込書、事前情報提供用紙を、メールにより提出願ひます。
- ④ 別紙2(申込書)及び別紙3(事前提出資料)の提出期限は、1月12日(金)必着とします。

10. その他

- ① 研修出席に係る旅費については、市町村又は各所属先で負担してください。
- ② 会場内の飲食については、可能ですが、ごみは各自でお持ち帰り願ひます。
- ③ 進行状況により、時間配分が前後することもあります。

11. 問合せ先・申込先

〒010-1412

秋田市御所野下堤5-1-1

(公財)秋田県長寿社会振興財団 (LL財団)

新地域支援事業担当 豊澤、小玉、工藤

電話 018-829-2777

FAX 018-829-2770

E-mail LL@akita-longlife.com

別紙 1

平成 29 年度秋田県生活支援コーディネーター（SC）情報交換会
（実践研修会）カリキュラム

1月24日(水)

時 間	研 修 内 容
9 : 3 0 9 : 5 0	受付 開会挨拶
10 : 0 0 ~ 12 : 0 0 (120分)	(1) 2層の生活支援コーディネーター（SC）／協議体づくり *講義：2層づくりのポイントなど 堀田力 事例（県内外事例紹介） *GW進行:適切な2層の選出 鶴山芳子 (2) ニーズと担い手の掘り起こし（町内会レベルのWSなど） *講義：ニーズと担い手の掘り起こしのポイントなど 事例（県内外事例紹介）
12 : 0 0 ~ 13 : 0 0	昼食・休憩
13 : 0 0 ~ 16 : 0 0 (180分)	(3) 助け合いづくり *講義：助け合いづくりのポイント 堀田力 事例 ①居場所 ②地縁活動 ③有償ボランティア (県内外事例紹介) *GW進行：鶴山芳子 ①居場所づくり ②地縁活動 ③有償ボランティア 【講師・アドバイザー】 公益財団法人さわやか福祉財団 会長 堀田 力 公益財団法人さわやか福祉財団 理事 鶴山芳子

※ 研修内容については、変更する場合がありますので、ご容赦願います。

※ 講義・グループワークの進め方については、別紙3により、皆様から事前に工夫していることや、悩んでいること、質問等の情報提供をいただいた内容について、講義・グループワークを行いますので、提出方よろしく願います。

【事前課題等提供について】（様式は別紙3）

申し込みの際に、以下の点について情報提供をいただきます。それをまとめて当日の資料にします。また、その内容をもとに講義とGWの内容をつくります。

（質問内容）

（1）2層のSC／協議体づくりについて

2層のSCは地域の助け合いのニーズをしっかりと把握し、住民主体で助け合いをつくり出す支援をする役割です。

そういう役割を担う人として適切にSC・協議体メンバーを選ぶためにあなたが工夫していることがあれば紹介してください。

また、そのような体制づくりにするために悩んでいることがあれば出してください。

（2）ワークショップ(ニーズと担い手の掘り起こし)について

住民のニーズと担い手を掘り起こすために小単位で住民WSをすることが望まれますが、あなたのまちではそういうWSを開くことを検討していますか。開くとすればどのように計画しているかご紹介ください。また、開くにあたり悩みがあれば聞いてください。

（3）助け合いづくりについて

2層協議体ができれば、住民のニーズに応じ、例えば居場所、地縁関係での助け合い、無償や有償ボランティア活動を創出すべく働きかけることになります。その働きかけについて、方策を考えていることがあればご紹介ください。具体的な質問があれば出してください。